

まちづくりネット

ニュース

発行者 三芳町協働のまちづくり  
ネットワーク運営委員会  
委員長 山本 和男  
三芳町藤久保 1100 番地 1  
三芳町役場 地域振興課内  
電話 049-258-0019

みんなで魅力あるまちをデザイン II

## 第2回公開学習会を開催

### 参加者全員で明日の三芳町の姿を討議

さる3月14日(日)、三芳町協働のまちづくり公開学習会を、「みんなで魅力あるまちをデザイン II」をテーマに、藤久保公民館で開催しました。この学習会は、三芳町協働推進本部と三芳町協働のまちづくりネットワークが、まちづくりに関する意見を広く一般から求めるために開催したもので、今回は第2回目になります。

まず主催者挨拶の後、まちづくりネットの活動状況報告と、三芳町と包括協力協定を締結している淑徳大学の取り組みが紹介され、続いて、まちづくりネットの活動分野ごとに分かれての分科会に移りました。分科会はフリートーキング形式で行われましたが、三芳町を魅力あるまちにするためにはどうすべきか熱心な討議が重ねられ、中には全国のさつま芋産地を一堂に集めて「さつま芋合戦」を行ってはどうか、などというアイデアも出されていました。

分科会終了後、埼玉県南西部地域NPO連絡会代表望月泰宏氏による「共助の仕組み -その楽しさ・



難しさ」と題する講演が行われ、講演の中では、分科会討議に対する講評も行われました。まちづくりネットの活動に対する講評は、「組織を確立してから実行に移すケースが多い中で、三芳町は、まず実行から始めていることが素晴らしい」というものでした。

今後は、分科会での意見や望月講師の講評を参考に、より効率的、効果的にまちづくり活動を進め、魅力ある三芳町をデザインしていくことが求められます。

## 三芳町協働のまちづくりネットワーク

# 分野グループ活動の記録

(平成22年上半期)

### 都市安全グループ

いよいよ完成しました！  
三芳町安全・安心マップ

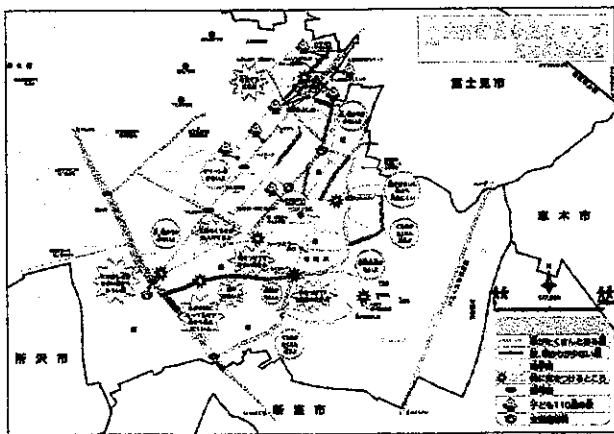
2008年9月に始まった都市安全グループの活動も、今年の3月で1年半を迎えました。

この間、寒風の中、乱れ散る桜吹雪の下、あるいは酷暑の中を、17名の仲間と、常に同行してくれた役場の職員は、街中の通学路を歩いて、危険箇所等の調査を実施しました。1箇所1箇所チェックしながら、問題点を見つけては白地図に書き込み、安全・安心マップを書き上げました。

昨年、まちづくりネットの活動が、国土交通省の「新たな公によるコミュニティ創生支援モデル事業」に選定されたため、手づくりのマップが思いがけずデジタル化されることになりました。

今年4月には、いよいよ待望の、町内5小学校区分のデジタル版「三芳町安全・安心マップ」が完成！ 5月12日、別掲記事のとおり、鈴木町長を通じて各小学校へ寄贈しました。今頃は、児童の登下校時の安全確保に役立っていることでしょう。

しかし、この作業は、これからが本番です。夜間の情報や区画整理等で刻々と変化する道路事情に合わせ、マップを逐次改訂していかななくてはなら



↑ 完成したデジタル版「三芳町安全・安心マップ」  
(竹間沢小学校区)

ないのです。

都市安全グループの皆さん、これからも頑張りましょう！

### 産業観光グループ

「みよしっ子野菜市」の常設化  
地場野菜使用の料理教室等を検討

産業観光グループでは、「みよしっ子野菜市」を毎月第4土曜日に藤久保公民館横の「みらい広場」で開催し、地元産新鮮野菜を直接消費者に提供することで「三芳」のPRに努めてきました。今後は重点テーマとして掲げる「三芳の顔づくり」を更に前進させるため、グループが一丸となって、さまざまな事業に取り組んでいきたいと考えています。

例えば、第4土曜日で定着しつつある「みよしっ子野菜市」の常設に向けて、検討を重ねています。常設になれば、



旬の野菜を旬の時期に食べていただくことができるので、農家側にも、そして消費者側にも利点のあるものになる、と思っています。

また、地元産の野菜を使った料理教室を企画しています。料理教室を開催することによって、地元産の農産物をPRするとともに、新たな企画や展開ができることを期待しています。今後は、旅行者等のプロの視点も取り入れながら、農作業体験ツアー等も企画していきたいと考えています。

町外に三芳の良さをPRし、町内には「ふるさと三芳」を感じてもらえるような企画を、模索していきたいと思います。

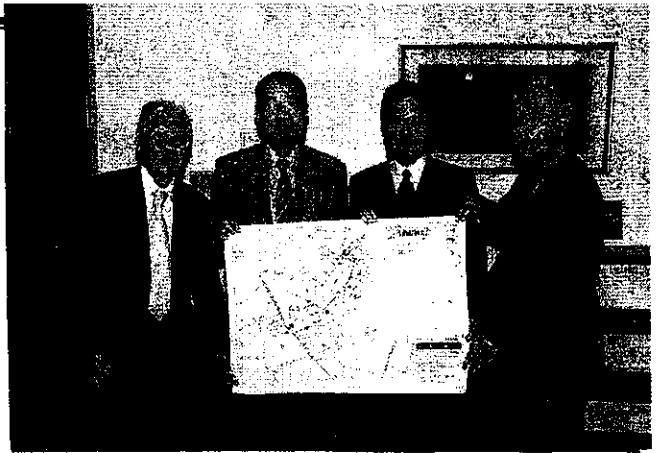
## 「安全・安心マップ」を

### 三芳町に寄贈しました

#### ☆都市安全グループ

三芳町協働のまちづくりネットワーク都市安全グループでは、児童の通学途上の安全を守るため、発足当初から「三芳町安全・安心マップ」の作成に取り組んできましたが、このほど5小学校区のマップが完成し、5月12日(水)、三芳町長室において町への贈呈式を行いました。

山本まちづくりネット運営委員長などの手から「三芳町安全・安心マップ」の贈呈を受けた鈴木町長は、「このマップは教育委員会を通じて各小学校へ配付



し、有効に活用したい。」と話していました。

「三芳町安全・安心マップ」が、子どもたちの登下校時の安全確保に役立つことを願っています。

## 健康福祉グループ

### ふれあいサロンは、高齢者に 「こころの平穩」をもたらす拠点です

- 社会的に孤立した高齢者が急増し、孤独死など悲惨な状況が出現しています。
- 頼りの福祉や介護の制度は、「自分で選んで利用する。」というもので、福祉や介護の知識があっても、誰も戸惑うものですし、たとえ自分に合ったサービスを選んだとしても、100%利用できる保証はありません。
- 識者は、高齢者の社会的孤立に対する有効な対策は、「地域のネットワークを拡充する」ことだと論じていますが、具体的な決め手は示していません。
- 私たちは、高齢者なら、どなたでも、気軽に、無理なく参加できる「ふれあいサロン」を、毎月第3土曜日の午後1時30分から、藤久保5区集会所で開催しています。この「ふれあいサロン」では、☆おしゃべりを楽しむ！ ☆ハーモニカなどに合わせて合唱！ ☆出前講座で役立つお話を！ ☆自分の特技を披露する！ ☆マジックショーを間近で楽しむ！ など、楽しい行事も沢山あります。
- 藤久保5区の「ふれあいサロン」は、昨年4月から14回開催しました。参加者の声で最も多いのは、「今日は楽しかった！」です。そのほかには、☆顔見知りが増えた、☆お友達が増えた、など。
- 私たちは、この「ふれあいサロン」を三芳町のあちら

こちらに開設して、いつも賑やかな笑い声が聞えてくる！ そうしたまちづくりを目指しています。膝の悪い方のためには座敷椅子を準備してあります。また、都合のいい時間にだけ参加することもできます。多くの皆様のご参加を、心からお待ちしています。

## 教育文化グループ

### 学習指導グループ支援を継続 更に子どもの居場所づくりを検討

教育文化グループは、学習の手助けをしているボランティアグループの支援と、子どもの居場所づくりを、二つの柱として活動しています。

学習支援をしているボランティアグループでは、常にボランティアをしていただける方を必要としています。教育文化グループでは募集ポスターを作成したり、淑徳大学の学生に協力を呼びかけたりするなど、そのお手伝いをしています。

また、子どもの居場所づくりについては、どのような要望が実現可能かなどの検討を始めたところです。居場所を求めている子どもは現におりますし、それを家庭の問題とするだけではなく、地域で取り組むものとして捉えていきたいと考えています。

毎月第3金曜日の夜6時から、藤久保公民館で会を開いていますので、皆さんぜひご参加下さい。事前に地域振興課へご連絡をいただければ幸いです。

## みどり環境グループ

### 雑木林の保全と環境教育 —順調な雑木林整備



みどり環境グループが組織した「みよしグリーンサポート隊」57名による雑木林保全作業は、5月から唐沢小学校東隣の町指定保存林の整備に移りました。盛夏の7、8月を除いて、毎月第3日曜日の朝9時半から14時半まで作業を行い、秋には、県の助成を受けて、再び三芳町役場隣接地の保全作業に戻る予定です。

引き続き、グリーンサポート隊員を募集中です。ご希望の方は、三芳町役場都市計画課までご連絡下さい。

#### ■公園・子ども広場の改善—より親しめる場に

公園の現状を自分たちで見て歩くことから始め、第1期として16公園を選び、現在その成果をアルバムに整理中です。近々公民館、図書館等でご覧いただけるようになりますが、ぜひご意見をお寄せ下さい。

#### ■エコライフの推進—県の提唱に呼応して実施

埼玉県が年2回「エコライフDAY埼玉」を実施するよう提唱し、みどり環境グループではこれに呼応して、小中学校、近隣大学、町職員、町議会議員等に呼びかけを行い、エコライフ活動の推進に努めています。

### 22年度協働推進会議を開催

三芳町では6月22日(火)、平成22年度協働推進会議を開催しました。この会議は、三芳町協働推進本部と三芳町協働のまちづくりネットワークが、三芳町における協働活動を進める上での意思疎通を図るためのものです。

協働推進本部からは鈴木本部長、池上・柳両副本部長以下本部課長が、まちづくりネットからは事務処理委員会委員が出席し、平成22年度の活動方針などについて、1時間30分にわたり意見交換や協議を行いました。

## 協働のまちづくりネットワーク

### 本年度以降の役員決定

三芳町協働のまちづくりネットワークでは、さる4月19日(月)に本年度第1回目の運営委員会を開催し、事務処理委員会から提出された平成21年収支決算報告及び平成22年度事業計画・収支予算案を承認するとともに、平成22年度以降の運営委員等を次のとおり決定しました。運営委員等の任期は平成24年3月31日までの2年間で、今後このメンバーでまちづくりネットの運営に当たっていくことになります。

役職	氏名	選出基準
運営委員長	*山本 和男	有識者委員
副 "	*横山八重子	"
運営委員	*駒崎 久明	淑徳大学准教授
"	*寺尾 雅治	区長会指定委員
"	柄澤 榮	健康福祉G代表
"	寫村 萬造	" 副代表
"	海老根 勉	みどり環境G代表
"	田村 博一	" 副代表
"	渋谷 弘	都市安全G代表
"	瀬尾 勇	" 副代表
"	井田 和宏	産業観光G代表
"	勝山 均	" 副代表
"	藤崎 滋男	教育文化G代表
"	笛木 隆雄	" 副代表
監事	千葉 広	
"	川田 茂	
事務スタッフ	(寺尾 雅治)	(運営委員兼任)
"	*伊藤 敏彦	

\*印は、事務処理委員会委員を示す。

### 国土交通省との委託契約完了

昨年10月末に国土交通省関東地方整備局と三芳町協働のまちづくりネットワークの間で締結された、「新たな公によるコミュニティ創生支援モデル事業」の契約が今年3月23日で期間満了となり、まちづくりネットでは関東地方整備局へ事業完了報告書を提出しました。

この結果、4月15日付けで、関東地方整備局からまちづくりネットの銀行口座へ契約金200万円が振り込まれ、国土交通省とのモデル事業実施契約は完了しました。